

〈編集後記〉

「三重大学日本語学文学」第二四号をお届けします。本号より組版・印刷を伊勢市の青木印刷にお願ひしております。従来はダイレクト印刷でしたが、青木印刷のお力で本号よりたいへん美しい組版・印刷となりました。誌面品質の向上は、教員一同の長年の悲願でした。リニューアルした本号に八篇という多くの論文が集まりましたこと嬉しく存じます。

論文をテキストとして考えれば、なにはともあれ読めてその内容が伝われば、論文としての目的を果たしていると思います。ただ、古典文学を研究しておりますと、書かれた本の大きさ、紙質、書式、筆跡・字体、彫りや摺りの状況が大きな情報を持っていることを常々感じますし、それは近代の印刷物についても同じことだと思います。レポジトリで見られるので受贈不要とおっしゃる機関も多くなりました。本号収録の論文もインターネットで閲覧する方も多いと思いますが、もし本号を直接お手にとる機会がありましたら、その点もお気をつけくださればと思います。(吉丸)

三重大学 日本語学文学 第二四号

二〇一三年六月三〇日発行

編集 三重大学日本語学文学会
発行 三重大学日本語日本文学研究室

発行所 三重県津市栗真町屋町一五七七

三重大学人文学部 〒五二四八五〇七

日本語日本文学研究室

☎〇五九一一三一―九〇九五(代)

印刷 有限会社青木印刷

伊勢市岡本一丁目二二二四